

舒大剛 楊世文 主編

中國儒學通案

清儒學案

(民國) 徐世昌 編纂

舒大剛 楊世文
王智勇 邱進之
刁忠民 李文澤
金生楊 校點

第六分冊



人民出版社

舒大剛 楊世文 主編

中國儒學通案



清儒學案

(民國)徐世昌 編纂

舒大剛 楊世文
王智勇 邱進之
刁忠民 李文澤
金生楊 校點

第六分冊

人民出版社

目 錄

清儒學案卷一百一 石臞學案 下	(2725)
石臞家學	(2737)
王先生引之	(2737)
王先生壽同	(2744)
石臞交游	(2747)
盧先生文弢	(2747)
朱先生筠	(2747)
程先生瑤田	(2747)
錢先生大昕	(2747)
段先生玉裁	(2747)
孔先生廣森	(2747)
孫先生星衍	(2747)
阮先生元	(2747)
臧先生庸	(2747)
江先生有誥	(2747)
顧先生廣圻	(2747)
汪先生中	(2747)
劉先生台拱	(2747)
賈先生田祖	(2748)
李先生惇	(2748)
朱先生彬	(2749)
宋先生綿初	(2752)

文簡弟子	(2752)
李先生貽德	(2752)
龔先生自珍	(2752)
胡先生培翬	(2752)
武曹家學	(2752)
朱先生士端	(2752)
 清儒學案卷一百二 容甫學案	(2754)
汪先生中	(2754)
容甫家學	(2781)
汪先生喜荀	(2781)
容甫交游	(2782)
盧先生文詔	(2782)
王先生念孫	(2783)
劉先生台拱	(2783)
阮先生元	(2783)
焦先生循	(2783)
凌先生廷堪	(2783)
段先生玉裁	(2783)
江先生藩	(2783)
江先生德量	(2783)
 清儒學案卷一百三 錢塘二梁學案	(2784)
梁先生玉繩	(2784)
梁先生履繩	(2790)
曜北家學	(2791)
梁先生學昌	(2791)
二梁交游	(2791)
杭先生世駿	(2791)
盧先生文詔	(2791)
錢先生大昕	(2791)
孫先生志祖	(2791)
翟先生灝	(2791)

許先生宗彥	(2791)
張先生雲璈	(2791)
清儒學案卷一百四 授堂學案	(2795)
武先生億	(2795)
授堂家學	(2806)
武先生穆淳	(2806)
授堂交游	(2807)
李先生威	(2807)
孫先生星衍	(2807)
桂先生馥	(2807)
黃先生易	(2807)
余先生鵬翀	(2807)
授堂私淑	(2807)
張先生宗泰	(2807)
清儒學案卷一百五 北江學案	(2808)
洪先生亮吉	(2808)
北江家學	(2830)
洪先生飴孫	(2830)
洪先生符孫	(2832)
洪先生齡孫	(2833)
北江弟子	(2833)
呂先生培	(2833)
北江交游	(2833)
錢先生大昕	(2833)
錢先生站	(2833)
孔先生廣森	(2833)
邵先生晉涵	(2833)
汪先生中	(2833)
章先生學誠	(2833)
孫先生星衍	(2833)
莊先生述祖	(2834)

臧先生庸	(2834)
趙先生懷玉	(2834)

清儒學案卷一百六 端臨學案

劉先生台拱	(2835)
端臨家學	(2845)
劉先生寶楠	(2845)
劉先生恭冕	(2854)
劉先生嶽雲	(2859)
端臨弟子	(2861)
苗先生之鉦	(2861)
端臨交游	(2861)
朱先生筠	(2861)
盧先生文韶	(2861)
王先生昶	(2861)
戴先生震	(2861)
邵先生晉涵	(2861)
程先生晉芳	(2861)
程先生瑤田	(2862)
任先生大椿	(2862)
段先生玉裁	(2862)
王先生念孫	(2862)
汪先生中	(2862)
錢先生塘	(2862)
阮先生元	(2862)

清儒學案卷一百七 鶴皋學案

祁先生韻士	(2863)
鶴皋家學	(2875)
祁先生寓藻	(2875)
鶴皋交游	(2876)
孔先生廣森	(2876)
馮先生敏昌	(2876)

邵先生晉涵	(2876)
孫先生星衍	(2876)
洪先生亮吉	(2876)
孫先生希旦	(2877)
郭先生在遠	(2877)
春圃交游	(2877)
苗先生夔	(2877)
清儒學案卷一百八 鶴泉學案	(2881)
戚先生學標	(2881)
鶴泉交游	(2898)
孔先生繼涵	(2898)
崔先生述	(2898)
武先生億	(2898)
錢先生站	(2898)
王先生引之	(2898)
許先生宗彥	(2898)
洪先生頤煊	(2898)
洪先生震煊	(2898)
宋先生大樽	(2898)
徐先生秉文	(2899)
鶴泉私淑	(2899)
李先生誠	(2899)
清儒學案卷一百九 驛軒學案	(2901)
孔先生廣森	(2901)
驛軒家學	(2939)
孔先生廣廉	(2939)
孔先生昭虔	(2939)
驛軒弟子	(2939)
朱先生文翰	(2939)
驛軒交游	(2943)
翁先生方綱	(2943)

邵先生晉涵	(2943)
嚴先生長明	(2943)
程先生晉芳	(2943)
畢先生沅	(2943)
阮先生元	(2943)
孫先生星衍	(2943)
洪先生亮吉	(2943)
洪先生榜	(2943)
清儒學案卷一百十 淵如學案	(2944)
孫先生星衍	(2944)
淵如弟子	(2975)
洪先生頤煊	(2975)
洪先生震煊	(2975)
周先生中孚	(2975)
淵如交游	(2975)
洪先生亮吉	(2975)
阮先生元	(2975)
江先生聲	(2976)
段先生玉裁	(2976)
孫先生志祖	(2976)
汪先生中	(2976)
章先生宗源	(2976)
畢先生亨	(2976)
許先生桂林	(2984)
清儒學案卷一百十一 魯陳學案	(2999)
馬先生宗璉	(2999)
魯陳家學	(3008)
馬先生瑞辰	(3008)
馬先生三俊	(3025)
魯陳交游	(3026)
孫先生星衍	(3026)

張先生聰咸	(3026)
元伯交游	(3026)
郝先生懿行	(3026)
胡先生承珙	(3026)
清儒學案卷一百十二 次仲學案	(3027)
凌先生廷堪	(3027)
次仲弟子	(3039)
胡先生培翬	(3039)
呂先生飛鵬	(3039)
張先生其錦	(3039)
次仲交游	(3039)
阮先生元	(3039)
焦先生循	(3040)
江先生藩	(3040)
程先生瑤田	(3040)
謝先生啓昆	(3040)
汪先生中	(3040)
孔先生廣森	(3040)
武先生億	(3040)
洪先生亮吉	(3040)
孫先生星衍	(3040)
許先生鴻磐	(3040)
王先生聘珍	(3056)
清儒學案卷一百十三 子居學案	(3062)
惲先生敬	(3062)
子居交游	(3081)
洪先生亮吉	(3081)
張先生惠言	(3081)
莊先生述祖	(3082)
王先生灼	(3082)
吳先生德旋	(3082)

李先生兆洛	(3082)
趙先生懷玉	(3082)
錢先生伯垌	(3084)
陸先生繼輅	(3084)
祁孫家學	(3085)
陸先生耀適	(3085)

清儒學案卷一百十四 蘭皋學案 (3086)

郝先生懿行	(3086)
蘭皋交游	(3096)
孫先生星衍	(3096)
王先生引之	(3096)
陳先生壽祺	(3096)
臧先生庸	(3096)
馬先生瑞辰	(3096)
鄧先生顯鶴	(3096)
宋先生翔鳳	(3096)
牟先生庭	(3097)
蘭皋私淑	(3097)
周先生悅讓	(3097)

清儒學案卷一百十五 秋農學案 (3099)

姚先生文田	(3099)
秋農交游	(3109)
嚴先生可均	(3109)
丁先生溶	(3109)
胡先生秉虔	(3109)
惲先生敬	(3109)
姚先生學塤	(3109)
沈先生夢蘭	(3109)
張先生士元	(3111)
倪先生模	(3111)

清儒學案卷一百十六 南陔學案	(3113)
王先生紹蘭	(3113)
南陔弟子	(3141)
王先生端履	(3141)
清儒學案卷一百十七 茗柯學案	(3142)
張先生惠言	(3142)
茗柯家學	(3161)
張先生琦	(3161)
張先生成孫	(3162)
茗柯弟子	(3165)
江先生承之	(3165)
董先生士錫	(3165)
茗柯交游	(3170)
惲先生敬	(3170)
李先生兆洛	(3170)
莊先生述祖	(3170)
吳先生德旋	(3170)
王先生灼	(3170)
丁先生杰	(3170)
陸先生繼輅	(3170)
清儒學案卷一百十八 鄭堂學案	(3171)
江先生藩	(3171)
鄭堂家學	(3182)
江先生懋鈞	(3182)
鄭堂弟子	(3183)
阮先生福	(3183)
黃先生奭	(3183)
鄭堂交游	(3188)
汪先生中	(3188)
李先生惇	(3188)
焦先生循	(3188)

阮先生元	(3188)
凌先生廷堪	(3188)
武先生億	(3188)
胡先生虔	(3189)
黃先生承吉	(3189)
李先生鍾泗	(3189)
鍾先生裒	(3189)
顧先生廣圻	(3189)
龔先生自珍	(3189)
徐先生復	(3189)
清儒學案卷一百十九 鐵橋學案	(3190)
嚴先生可均	(3190)
鐵橋家學	(3201)
嚴先生章福	(3201)
鐵橋交游	(3201)
孫先生星衍	(3201)
姚先生文田	(3201)
張先生惠言	(3201)
俞先生正燮	(3202)
許先生瀚	(3202)
徐先生松	(3202)
李先生兆洛	(3202)
丁先生溶	(3202)
嚴先生元照	(3202)
楊先生鳳苞	(3202)
施先生國祁	(3202)
張先生鑑	(3203)
鐵橋從游	(3203)
臧先生壽恭	(3203)
清儒學案卷一百二十 里堂學案	(3204)
焦先生循	(3204)

里堂家學	(3234)
焦先生廷琥	(3234)
里堂交游	(3237)
阮先生元	(3237)
江先生藩	(3237)
王先生引之	(3237)
黃先生承吉	(3237)
汪先生萊	(3237)
王先生聘珍	(3237)
姚先生文田	(3237)
李先生銳	(3237)
顧先生鳳毛	(3237)
鍾先生懷	(3238)
李先生鍾泗	(3241)
談先生泰	(3241)
汪先生光燧	(3244)
 清儒學案卷一百二十一 儀徵學案 上	(3246)
阮先生元	(3246)
 清儒學案卷一百二十二 儀徵學案 中	(3273)
儀徵家學	(3273)
阮先生常生	(3273)
阮先生福	(3273)
儀徵弟子 上	(3274)
嚴先生杰	(3274)
王先生引之	(3274)
姚先生文田	(3274)
張先生惠言	(3274)
嚴先生元照	(3274)
陳先生壽祺	(3274)
曾先生釗	(3274)
侯先生康	(3275)

李先生富孫	(3275)
李先生遇孫	(3275)
許先生宗彥	(3275)
吳先生東發	(3279)
徐先生養原	(3280)
金先生鶚	(3299)

清儒學案卷一百二十三 儀徵學案 下

儀徵弟子 下

洪先生頤煊	(3314)
洪先生震煊	(3320)
周先生中孚	(3324)
朱先生爲弼	(3324)
汪先生家禧	(3332)
孫先生鳳起	(3337)
端木先生國瑚	(3338)
譚先生瑩	(3339)

儀徵交游

臧先生庸	(3339)
任先生大椿	(3340)
王先生昶	(3340)
錢先生大昕	(3340)
汪先生中	(3340)
王先生念孫	(3340)
劉先生臺拱	(3340)
孫先生星衍	(3340)
凌先生廷堪	(3340)
江先生藩	(3340)
焦先生循	(3340)

清儒學案卷一百一

石臚學案 下

文 集

段若膺說文解字注叙

《說文》之爲書，以文字而兼聲音、訓詁者也。凡許氏形聲讀若，皆與古音相準，或爲古之正音，或爲古之合音。方以類聚，物以羣分，循而考之，各有條理。不得其遠近分合之故，則或執今音以疑古音，或執古之正音以疑古之合音，而聲音之學晦矣。《說文》之訓，首列製字之本意，而亦不廢假借。凡言“一曰”及所引經，類多有之，蓋以廣異聞、備多識，而不限於一隅也。不明乎假借之指，則或據《說文》本字以改書傳假借之字，或據《說文》引經假借之字，以改經之本字，而訓詁之學晦矣。吾友段氏若膺，於古音之條理察之精，剖之密，嘗爲《六書音均表》，立十七部以綜覈之。因是爲《說文注》，形聲讀若，一以十七部之遠近分合求之，而聲音之道大明。於許氏之說正義、借義，知其典要，觀其會通。而引經與今本異者，不以本字廢借字，不以借字易本字，揆諸經義，例以本書，若合符節，而訓詁之道大明。訓詁聲音明而小學明，小學明而經學明，蓋千七百年來，無此作矣。若夫辨點畫之正俗，察篆隸之繁省，沾沾自謂得之，而於轉注假借之通例茫乎未之有聞，是知有文字而不知有聲音訓詁也。其視若膺之學，淺深相去爲何如耶！余交若膺久，知若膺深，而又皆從事於小學，故敢舉其犖犖大者以告綴學之士云。

書錢氏答問說地字音後

錢氏《答問》曰：問：顧氏謂古音地如沱，《詩》“載寢之地”與瓦韻，不與謁韻，且引《易·繫辭》“俯則觀法於地”，與宜韻以證之，其說信否？曰：顧氏之說，出於陳第。第所據者，惟《楚辭·橘頌》，亦未敢改《詩》音以就楚音也。經典讀地字，大率與今音不異。《易》明夷上六：“不明晦。初登于天，後入于地。”此以地韻晦也。《繫辭》云：“廣大配天地，變通配四時，陰陽之義配日月，易簡之善配至德。”又云：“知崇禮卑，崇效天，卑法地。”一與時韻，一與卑韻，顧氏皆棄不取，獨引“仰觀俯察”四句，以謬成己說。愚謂此四句本非韻，即以韻求之，又烏知不與物、卦相協乎？籀文地作墜，從隊不從也。墜之爲地，蓋起於《春秋》以後，近取《楚辭》以遠繩《詩》、《易》，吾知其必不然也。許叔重《說文》雖以地爲正字，仍兼取籀文，漢碑亦多用墜。《元命苞》云：“地者，易也。”《釋名》：“地，底也，諦也。”皆不從也聲之音。《秦始皇本紀》琅邪刻石文以地與帝、懈、辟、易韻。《淮南·原道訓》：“一之理施四海，一之解際天地。”《太史公自序》：“維昔黃帝，法天則地。”《漢書·丙吉傳》：“而曹地忍之。”亦讀地爲第也。顧氏謂司馬相如《子虛賦》始讀爲徒二反者，誤。

念孫案：顧說是，錢說非也。凡字從也聲者，古皆在歌部，故池、馳、他、施、拖五字見於《詩》者，皆如歌部之音，地亦猶是也。“載寢之地，載衣之謁，載弄之瓦”三句連文而句法相同，不可分爲二韻，猶上章言“載寢之牀，載衣之裳，載弄之璋”也。故上章以牀、裳、璋、皇、王爲韻，此章以地、謁、瓦、儀、議、罹爲韻。謁，他計反，於古音屬支部，支、歌二部之音最相近，故古或通用。若《楚辭·九歌》：“悲莫悲兮生別離，離，古讀若羅。樂莫樂兮新相知。”《大招》：“嫫媿滂浩，麗以佳只。曾頗倚耳，曲眉規只。滂心綽態，姣麗施只。施，古讀若莎。小要秀領，若鮮卑只。魂乎歸來，恩怨移只。”移，古讀弋多反。《逸周書·周祝篇》：“葉之美也離其柯，柯之美也離其枝。”《管子·內業篇》：“彼道不離，民因以知。”《莊子·馬蹄篇》：“同乎無知，其德不離。”《韓子·外儲說》下篇，引《申子》“慎而言也人且知女，慎而行也人且隨女。”隨，古音口禾反。皆以支、歌通用，顧謂謁不與地協，非也。而讀地如沱則是也，若讀地如今音，以子、謁韻，而以瓦、儀、議、罹別爲一部，則既失本章之句法，又與上章之例相左矣。《易》之《繫辭》自“古者包犧氏之王天下也”以下，每多用韻之文，則“仰則觀象於天”以下四句，

自當有韻，何得以爲非韻乎？且地與宜相隔不遠，自當讀地如沱，以與宜韻。宜古讀若俄。乃讀地如今音，而不與宜韻，且遠隔三句，而與物、卦爲韻，吾知其必不然也。錢氏誤讀《詩》、《易》，反謂顧氏近取《楚辭》以遠繩《詩》、《易》，慎矣。錢又引《明夷》上六地與晦韻、《繫辭》地字一與時韻、一與卑韻，以證今音之不誤。案：地於古音屬歌部，晦、時二字於古音屬之部，歌部之音，何能與之部通？“知崇禮卑”三句，亦非用韻之文，錢既誤讀《詩》、《易》，又取《易》之不用韻者強以爲韻，不亦誣乎？錢又引籀文地作墜，說見下條。又《元命苞》、《釋名》、秦刻石文、《淮南·內篇》、司馬相如《子虛賦》、《史記》、《漢書》爲證。案：讀地如今音者，實自秦刻石文始，而《淮南》以下皆沿其誤。然秦碑漢賦，不在《詩》、《易》之前，奈何取秦漢以遠繩《詩》、《易》乎？至秦碑以地與帝、懈、辟、易韻，《淮南》以地與解韻，案：《原道訓》：“一之理施四海，一之解際天地。”此以理、海爲一韻，解、地爲一韻，非以理、海、解、地通爲一韻。《子虛賦》以地與繫韻，《史記》以地與帝韻，《元命苞》訓地爲易，於古音皆屬支部，不屬脂部。支、歌二部之音相近，脂則遠矣。至《漢書》讀地如第，《釋名》訓地爲底，第爲脂之去聲，底爲脂部之上聲，則地字始讀入脂部。《玉篇》：“地，題利反。”《廣韻》收入六至，皆是脂部之去聲。此誤之又誤也。而錢氏不能區別，概引爲證，且引《明夷》上六及《繫辭》爲證，則歌部之字竟與之部通矣。蓋錢氏於支、脂、之三部之界，未能了了，故所引多謬也。

且地之讀如沱，不獨《詩》、《易》、《楚辭》也。《禮運》云：“命降於社之謂穀地，降於祖廟之謂仁義，降於山川之謂興作，降於五祀之謂制度，此聖人所以藏身之固也。”地、義爲韻，義古讀若俄。作、度、固爲韻。《廣韻》：“作，又音臧詐切。”《大戴禮·五帝德篇》：“養材以任地，履時以象天，依鬼神以制義，治氣以教民。”地、義爲韻，天、民爲韻。《逸周書·武寤篇》：“王赫奮烈，八方咸發。高城若地，商庶若化。”烈、發爲韻，地、化爲韻。化古讀貨，平聲。《管子·五行篇》：“故通乎陽氣所以事天也，經緯日月用之於民。通乎氣所以事地也，經緯星曆以視其離。”天、民爲韻，地、離爲韻，離古讀如羅。地字皆讀如沱。《楚辭·天問》：“啓棘竇商，《九辯》《九歌》，何勤子屠母，而死分竟地。”地字亦讀如沱，又不獨《橘頌》一篇也。以上諸條，皆在秦碑之前，而錢氏皆不取者，有所嫌而諱之耳。又《子虛賦》雖讀地如今音，而《上林》云：“其北則盛夏含凍裂地，涉冰揭河。其獸則麒麟角端，騶駼橐駝，蛩蛩驪騷，馱馱驢羸。”則又讀地如沱。錢氏